



**皆で息を合わせて  
懐かしいあの曲を**

**大正琴柳幸会** りゅうしゅうかい

平成4年に本町公民館の講座から始まったサークルです。多くが開講当初からのメンバーで、先生を含め11名で活動を続けています。大正琴は、その名のとおり大正時代に琴をベースとして日本で発明された楽器です。左手で音階キ―を押さえ、右手のピックで弦を弾くことで音が出るため、初心者でも音を出しやすいという特徴があります。

普段の練習では、伴奏が入ったテープに合わせて全員で演奏します。演歌や童謡など、聞いたことのある親しみやすい曲を皆さんで選んでいるそうです。

会員の方は、「古い曲を演奏することが多いので、懐かしさを感じて思い出します」と語ってくれました。大正琴の魅力でもある独特の音色が、懐かしさを更に引き立てているようです。別の会員の方は、「どこを演奏しているかわからなくなってきたときに、仲間が教えてくれて演奏することもあります」と、助け合いながら演奏する様子を話してくれました。休憩時間に談笑する皆さんの様子からも、長年の活動で育まれた「心とこころの

# 市民のひろば



和」を感じました。開講時から続けている会員の方も、「仲間や先生に励まされながら、こんなに長く続けられることができて嬉しかったです。大正琴は一生の宝です」と笑顔で教えてくれました。

イベントや福祉施設での慰問コンサートなど、一年を通して発表の機会が多いそうです。取材当日は発表会に向けた練習の最中でした。きれいに揃った手さばきで奏でる大正琴からは、今日もどこか懐かしい音色が響いていました。

### 大正琴柳幸会

代表 / 大居 春江さん  
☎32-2430  
活動日 / 毎月第1、2、3  
月曜日  
13時～15時  
活動場所 / アイビー・プラザ

### 楽器紹介

～大正琴～



#### 種類

ソプラノ、アルトなど音域やキーの数が違う色々な大正琴があります

### 大正琴の歴史

大正時代に、タイプライターをヒントに発明されたと言われています

#### 音階キ―

左手で押さえます

ピックを使って弦を上下に弾きます



### インタビューしてみました！

「マンガ家になりたい」と、はつきり答えてくれました。小さい頃からマンガが好きで、読んでいるうちに描くことも好きになり、小学2年生の頃には夢として意識するようになったそうです。少女マンガだけでなく、スポーツものやギャグマンガなど幅広く好きという辨野さん。同じくマンガ家を目指す友達と、作品を見せ合いながら腕を磨いています。「まだ落書き程度です」と言いますが、「好きなキャラクターを描いて、絵の練習をしています」と夢への挑戦はすでに始まっています。クラスの代表委員で、まじめな印象を持たれがちですが、自分では「そんなにまじめだとは思いません」と話します。実は普通の絵よりも、人を楽しませるコミカルなイラストが得意で、クラスのポスター作りや似顔絵描きなどで活躍しているそうです。

サービスピ精神にあふれたしつかり者の辨野さん。いつか、読む人みんながワクワクするようなマンガを描いてくれることでしょう。

### ぼくのわたしの



辨野 千尋さん  
(西小学校6年)

マンガ家になりたい



とまこまいの  
子どもたちの夢

小・中学生の皆さんの「夢」を200字程度に書いて、写真を添えて送ってください

### タウンスケッチ

～まちの出来事～  
Town Sketch



秋の苦小牧を堪能する祭典、たるまえサンフェスティバルが9月10日(土)、11日(日)にアル

「食べて！遊んで！楽しむ！」  
たるまえサンフェスティバル



テンまきばの広場で開催されました。樽前山を望む会場では、たくさんの来場者がパーベキューやホツキ料理などの旬の味覚に舌鼓を打っていました。また、鮭のつかみ取りなどの楽しいイベントも行われ、子どもたちの歓声でまったりは賑わっていました。



「あなたの意見を市政に  
まちかどミーティング」

市長と直接話し合う場として毎年開催されている「まちかどミーティング」が、今年も8月29日(月)からスタートしました。ごみや防災など、生活に密着したテーマで、活発な意見交換が行われました。10月の開催予定は、広報とまこまい10月号の12ページをご覧ください。



「芸術の秋」を感じます  
高齢者福祉センター祭

9月7日(水)、8日(木)の2日間、第34回高齢者福祉センター祭が開催されました。ステージではカラオケや詩吟など芸能部門の発表が行われ、参加者のいきいきとした声が響いていました。また、陶芸や絵手紙、手芸など多彩な作品展示も行われ、訪れた来場者の目を楽しませていました。